

就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	くらた さゆか	性別	生年月日・年齢
氏名	倉田 紗優加	女	2004年5月22日
競技名／種別・種目	陸上競技・やり投		22 歳
出身地	長野県上伊那郡		
現住所	東京都大田区		
所属先	慶應義塾大学		
練習場所	慶應義塾大学日吉キャンパス陸上競技場/伊那市陸上競技場		



【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2023	3	長野県立伊那北高等学校入学 卒業
2023	4	慶應義塾大学環境情報学部 入学
2027	3	慶應義塾大学環境情報学部 卒業見込み



■免許・資格

普通自動車第一種運転免許証

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦 績
2025	8	アジア投擲選手権	5位

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦 績
2024	5	第103回関東学生陸上競技対校選手権大会	優勝
2025	5	第104回関東学生陸上競技対校選手権大会	優勝
2025	6	第94回日本学生陸上競技対校選手権大会	優勝
2025	7	第109回日本陸上競技選手権大会	7位

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私の強みは、できないことや逆境をポジティブに捉え、楽しみながら自己成長し続けられる点です。周囲に専門の指導者がおらず、競技未経験の母と二人三脚で世界を目指す競技人生を送ってきました。その中で私は、自ら行動し学び続ける姿勢を武器に成長してきました。専門的な技術を学ぶため、北口選手を指導したセケラックコーチに直談判しスペイン及びチェコでの1ヶ月以上の合宿に参加させていただいたほか、日々の練習ではトライアンドエラーを重ねながら自分に最適な投げ方を模索してきました。身長160cmとやり投げ選手としては小柄な体格であるため、他者との比較に囚われすぎず、自身の身体的特徴や強みを最大限に活かす投法を追求し続けました。記録が伸び悩む時期や、1日7時間投げ続けても成果が出ない経験もありました。しかし、うまくいかないことを「失敗」ではなく「伸びしろ」と捉え、楽しみながら挑戦を続けた結果、中学・高校・大学すべてのカテゴリーで日本一を達成し、現在は日本歴代10位、学生歴代5位の記録に繋がっています。また、結果に満足せず常に高い目標を掲げ、周囲の方々への感謝を忘れずに自分自身と向き合い続けてきたことが、10年連続で自己ベストを更新し続けられている要因だと考えています。さらに競技だけでなく学習面にも力を入れています。女性アスリートのウェルビーイングをテーマに研究活動を行い、企業協賛を得たイベントの企画・運営やSNS運用、中学生へのコンディショニングについての講演活動などに取り組んできました。競技で培ったやり遂げる力や積極性を、組織運営や学習にも応用してきた姿勢が評価され、大学の研究会長にも選出していただきました。また、地元の小学校でジャベリックボール投げの指導をさせていただく機会を何度もいただいております。子どもと楽しく投げる活動を広めていけるよう努めております。今後もこれまで陸上を通して培ってきた強みを活かし、成長し続け支えてくださった多くの方々にオリンピックという舞台でメダルを獲得する、という結果をもって恩返しをするとともに、所属する企業においても強みを応用させ自己成長を重ね、企業価値の向上および社会への貢献に尽力していきたいと考えています。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件

①職種・仕事内容	人事や広報の仕事に興味があります。人を笑顔にしてその笑顔を直接体感できる仕事がしたいです。また、海外での練習経験から異文化交流にも興味があります。
②勤務地	関東 中部(長野)
③勤務日数・時間帯	週2～3日の時短勤務 試合や遠征などの際はご配慮いただけますと幸いです。